

研究上の特記すべき事項

受賞

令和4年度公益社団法人日本補綴歯科学会特別功労賞，志賀博，2023年3月27日。

特定非営利活動法人第33回学術大会日本咀嚼学会優秀ポスター賞，横山正起，2023年2月20日，受賞演題：苦味の認知前後における咀嚼運動リズム。

一般社団法人日本全身咬合学会第32回学術大会優秀口演賞，横山正起，2022年12月23日，受賞演題：苦味の認知前後における咀嚼運動経路。

令和3年度日本歯科大学歯学会大会学術研究奨励賞，佐野真子，2022年4月13日，受賞論文：天然歯列を有する高齢者の咀嚼機能における性差。

令和3年度公益社団法人日本補綴歯科学会学会論文賞，志賀博，2022年3月28日，受賞論文：Reference value of masticatory performance by measuring the amount of glucose extraction from chewing gummy jelly.

令和2年度公益社団法人日本補綴歯科学会学術賞，志賀博，2021年3月26日。

第6回日本顎口腔機能学会学会賞，志賀博，2007年4月16日。

特定非営利活動法人日本咀嚼学会第16回学術大会優秀口演賞，志賀博，2006年10月28日，受賞演題：苦味の違いがグミゼリー咀嚼時の脳内血流に及ぼす影響。

社団法人日本補綴歯科学会第112回学術大会課題口演コンペティション優秀賞，志賀博，2005年5月14日，受賞演題：咀嚼運動のリズムと経路の安定性の主成分分析による咀嚼機能の評価。

平成16年度日本顎関節学会学会賞学術奨励賞，志賀博，2004年7月4日，受賞論文：側頭下顎障害患者における咀嚼運動経路の安定性の定量的評価。

平成17年度日本顎口腔機能学会奨励賞，庄内康晴，2004年4月17日，受賞論文：側方咬合位の咬合接触状態が咀嚼運動経路のパターンに及ぼす影響。

平成 11 年度日本歯科大学歯学会学術研究奨励賞，志賀博，1999 年 6 月 4 日，受賞論文：3 次元計測システム K-3DMS2 による新しい下顎運動記録法，測定点から離れた任意点の運動の解析.

特許

[国内特許]

株式会社ジーシー，学校法人日本歯科大学:志賀博，野口幸恵，2020 年 11 月 12 日，特許第 6793843 号，咬合圧解析装置、咬合圧解析プログラム、及び咬合圧解析方法.

学校法人日本歯科大学:中原泉，志賀博，山村晴雄，2016 年 11 月 30 日，特許第 6035278 号，咀嚼能力測定装置，及び咀嚼能力測定方法.

学校法人日本歯科大学:志賀博，中原泉，2016 年 9 月 9 日，登録特許第 6002708 号，顎運動測定装置.

学校法人日本歯科大学:志賀博，中原泉，2016 年 8 月 19 日，特許第 5990552 号，歯科用咬合力測定装置.

[国際特許]

The Nippon Dental University, GC Corporation (学校法人日本歯科大学，株式会社ジーシー): Hiroshi SHIGA, Tomohisa SHIRAISHI, Yukie NOGUCHI (志賀博，白石智久，野口幸恵)，2022 年 11 月 24 日，中国特許 Patent No. 202173993, Occlusal Pressure Analysis Program (咬合圧解析プログラム).